

平成 26 年産 紀南のみかん産地情報

2014/07/08

1. 4月から5月上旬にかけて気温が平年に比べ低く推移したため、満開日は早生で5月9日となり、前年・平年より1日遅れでのスタートになった。

その後は平年を上回る気温によって第一次生理落果は多くなったが、6月以降は夜温が低く推移したため、心配していた第二次落果は少なくなり、現在は順調に生育している。



2. 本年の早生みかんは裏回りとなるため、少ない果実を高品質に仕上げるための摘果やマルチ被覆、フィガロンの散布を呼びかけている。

7月4日時点の果実肥大は、早生みかんで果径が30.0mm（前年比99.3%、平年比102.3%）となっている。

3. 今年産の生産予想量（6月30日時点）

品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比	平年比
極早生	202.1	3,412	93.8%	87.4%
早生	457.9	6,358	84.4%	77.8%
合計(普通含む)	663.9	9,806	87.4%	80.8%

4. 病害虫については、開花時にカメムシの飛来が見られたが、現在は小康状態にある。また、一部園地でハダニの発生が見られた。

5. 果実生育期の5月下～6月上旬の気温は平年を上回って推移したが、中下旬ではやや低くなった。また降水量は、5月中・下では平年を上回る降雨があったが、6月は記録的な少雨となっている。

